

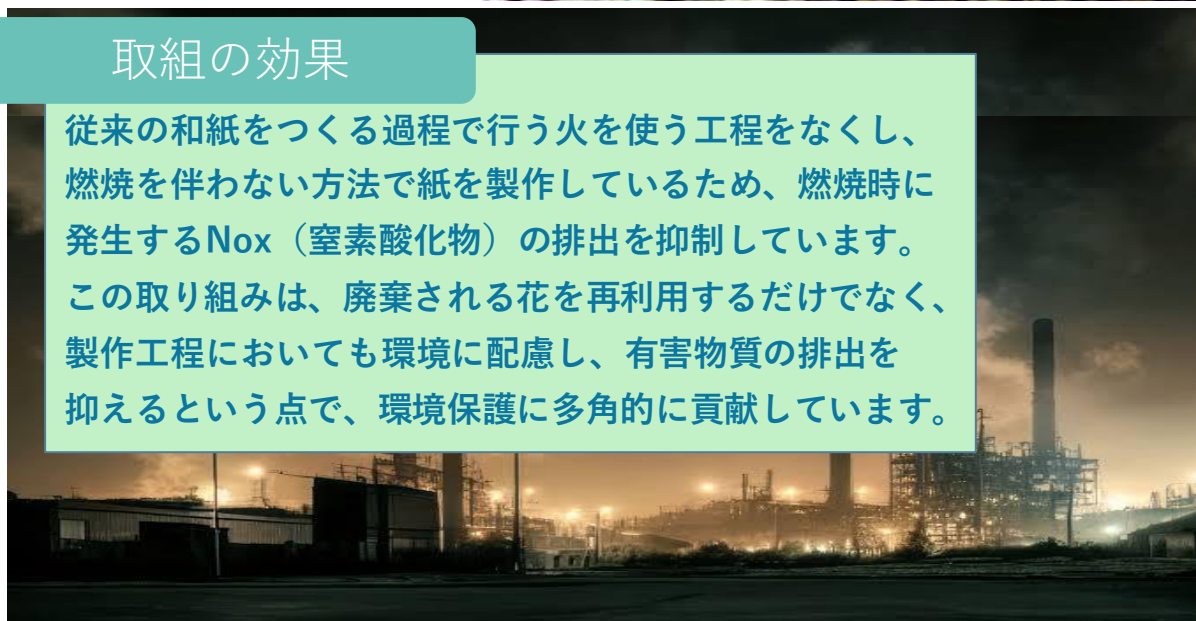
自主的取組を始めたきっかけ



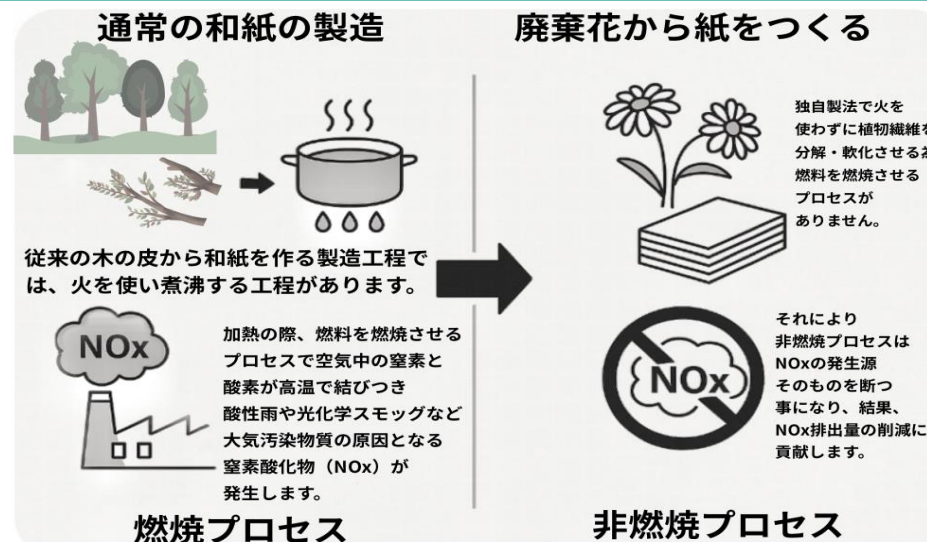
お花は 生産時、出荷時、イベント催事で装飾後など、あらゆる場面でやむを得ず廃棄になってしまいます。そんな本来廃棄されてしまうお花を有効活用したいという思いから始まりました。

取組の効果

従来の和紙をつくる過程で行う火を使う工程をなくし、燃焼を伴わない方法で紙を製作しているため、燃焼時に発生するNox（窒素酸化物）の排出を抑制しています。この取り組みは、廃棄される花を再利用するだけでなく、製作工程においても環境に配慮し、有害物質の排出を抑えるという点で、環境保護に多角的に貢献しています。



取組内容・特にPRしたいこと



廃棄花から紙をつくる工程で、大気汚染の原因となるVOC（揮発性有機化合物）の排出量減少のため、水や酸素といった自然界に存在する物質に分解される、環境にやさしい溶剤を使用しています
φ(・・)

今後について

環境負荷の低減を意識しながら、廃棄花を新たな形に変え利活用していく事で「お花の命の循環」「お花の経済の循環」を構築し



『お花循環型社会』の実現を目指します。